



### 校区の民生委員児童委員のご紹介です

令和7年12月1日より下記の方が香住丘校区民生委員児童委員、主任児童委員として担当になりました。地域住民の抱える様々な福祉の問題、生活上の悩み等について、相談に応じます。お気軽に地域担当の民生委員にご相談ください。

欠員(2名)は補充される予定です。

氏名	担当区	役職名
山根三知江	香住台、唐原市住	
石橋知己	唐原1区(唐原4丁目13、唐原5丁目6、8~10、唐原6丁目1~10、唐原7丁目1~20、松香台2丁目6~12)	
武田薫子	唐原2区、唐原3区(唐原5丁目1~2番)	
千北成子	唐原3-2区(唐原2丁目3~8、20~21) 唐原3-3区(唐原3丁目6~10)	(新任)
力丸健治	唐原3区(唐原1丁目1~12、唐原2丁目23~31、唐原3丁目1、3~5)、ロワール5	
石川八重子	香住ヶ原	
山北美千代	唐原4区(和白1丁目5.6、唐原3丁目2.11~21、唐原4丁目1~13)	
崎村葉子	香住丘団地(唐原1丁目13~24)	副会長
武藤直美	香住丘3丁目1区	
中村淑枝	丸尾市住、唐原東市住、唐原3区(唐原5丁目3~4)	会計
石井めぐみ	香住丘1丁目、女子大寮、サンリヤン、香住ヶ丘杜の家	
伊藤純子	香住丘2丁目1、4-1~4-10、36~45	
久富貴子	香住丘2丁目9、10、21~24、28、32~35	(新任)
宗平満彦	香住丘3丁目2区	
森英之	香住丘4丁目1区(1、7~12、15、19、26、32~35)	会長
麻生由紀子	香住丘4丁目1区(20~25、36~42)、香住丘6丁目19	
北崎博三	香住丘4丁目2区	
川越靖子	香住丘6丁目1、2、3区	
崎谷留美子	香住丘6丁目4区	校区幹事
	香住丘5丁目1、2区	
	香住丘6丁目5区	
畠田康文	和白4区(和白4丁目1~8、大字上和白)	
東島輝美	和白4区(和白1丁目)	
坂本節子	主任児童委員	
椎葉恭子	主任児童委員	(新任)



### かしいかえん跡地と香住丘の未来ワークショップ 未来につなぐ様々な思い、アイデアが語られました

2月15日(日)、香住丘公民館で第2回ワークショップが高校生から80歳代の高齢層まで、幅広い世代から57名が参加して開催されました。

今回は、「環境と共に生き、歩いて暮らせるまちづくりの今を学んでみましょう」をテーマに、まず齊藤昌平さんが「現在の開発のトレンド」と題して、次にたいら由以子さんが「資源循環で育む地域のウェルビーイング」と題しての講話で実践例を学び、その後ファシリテーター山口覚さんのもと、参加者全員で資源循環や持続可能なコミュニティの在り方について対話を深めました。参加者の「かしいかえん愛」の強さが随所に表れ、地域の誇りとしての場所であることを再認識する場となりました。

アンケートの一部を、抜粋してご紹介します。(ホームページには全文を掲載。)

- かしいかえん跡地には、たくさんのアイデアがあり自分自身では思いつかなかったような提案があり、驚きました。食で人がつながることで良いコミュニケーションが形成されていき、地域の安全や防災にも繋がっていくと感じました。(女性・高校生)
- かつての香椎花園がみんなが楽しめる場であったように、跡地の利用も、そんな風に地域共生という役割を果たすことのできる場所になれば良いな、と強く思いました。やはりマンションなどが建って終わり、ではなく、長く笑顔があふれる場というのが僕的には良い未来だと思います。(男性・高校生)
- 住民、自治体、西鉄という民間企業の三者が共創して生まれる「まち」や空間になって欲しいと感じました。住民の思いやコンポスト等香住ヶ丘ならではの取り組み、西鉄の様々なノウハウがうまく融合した「まち」こそが持続可能な「まち」なのではないかと考えました。(大学生)
- 高校生と大学生がたくさん参加してくれたので、意見がますます多様になった印象です。齊藤さん、たいらさんのお話しには共通点がありました。パークナイズ、資源循環などのキーワードは、これからの跡地利用には欠かせないと思いました。(男性・50代)
- 思いはそれぞれですが、地域の人々が末永く楽しめる空間を一部でもいいから作って欲しいという気持ちは共通だったと思います。(女性・60代)
- 住宅地、学校等に囲まれ、海に面したこの土地を、100年先を考えて活用策を企画して欲しいと思いました。(男性・70代)



齊藤昌平さん たいら由以子さん

### 命を守るための防災(その32-②)

#### 食物アレルギーと防災

特定原材料8品目



(前回の続き)

#### 3 避難所での対応

- ① 食物アレルギー患者の把握(避難者名簿(世帯カード)で把握)
- ② 食品配布時は、食物アレルギーの有無を確認する。
- ③ 食事の提供や炊き出しをする時にはアレルギー患者が判断できるように、使った食材(原材料)の表示と、加工食品の表示(包材)や調味料は見えるところに置く。(国の方針)
- ④ アレルゲンに触るだけで症状が出る場合がありますので、炊き出し手伝いの際は配慮する。
- ⑤ アトピー性皮膚炎は人に移る病気ではありません。入浴や清拭、薬の塗布は治療に必要です。
- ⑥ ほこりやストレスで喘息が悪化する場合がありますので、適切な居住場所の配慮をお願いします。吸入機器が必要な場合は、電源の優先利用が必要です。
- ⑦ ぜんそくの発作が起きた時  
まず水分をとらせて、「息をゆっくり、深くするように」と声をかけてください。発作時の薬(吸入薬や内服薬)を使い、もたれかかる姿勢で休ませてください。苦しそうな症状があるときは、医師の診察が必要です。



校区のニュースは、ホームページでもお知らせしています。♪

→ 「香住丘校区自治協議会」で検索!